

第6回役員会議 報告

- 令和2年9月25日(金) 会長・副会長会議 18:00～ 役員会議 19:00～
- 北九州市立生涯学習総合センター3階 大ホール
- 出席者(敬称略) 小森・吉井・密井・有江・大庭・日野・三浦・森谷・田中・田頭・井上・相良・長野・坂本(浩)・坂本(雅)・奥村・李・今林・梅原・船越・西田・藤井・野田・小川・池田・鬼ヶ原・田場・原田・脇・上田

事務局…溝部・今永・村山

《役員会来訪者説明》 なし

○ 議 事

議事録署名人と「子どもを育てる10か条」の唱和者の指名

☆ 議事録署名人 松岡 原田

☆ 「子どもを育てる10か条」の唱和 日野

1. 会長あいさつ

皆さんには、感染拡大防止に向けて日々ご尽力いただいているところです。シルバーウィークが終わりましたので、一層気を引き締めていきたいところです。

修学旅行シーズンになり、各学校の先生方は胃の痛くなるような思いで万全の対策をとっていただいていると聞いております。そして受験シーズンがやってきます。オンライン授業を取り入れている塾もあり、新たな様式の中で皆がんばっています。

7月より月に2回の役員会議を開催していましたが、来月からは定例どおりに戻ります。校長会からは現場の状況を密にご報告いただきました。そして我々も保護者としての立ち位置で質問、情報共有を行いました。私たち保護者がこのコロナ禍の中で学校への協力としてできることの1つとして「子どもの健康状態をしっかりと把握し、学校へ送り出すこと」があります。先生方は日々、子どもたちの健康管理に苦心されています。我々保護者が家庭でできる教育、食事、健康管理の義務を果たし学校へ送り出すことが必要です。

大変な日々が続きますが、本日もどうぞよろしくお願いします。

2. 審議事項 なし

3. 協議事項

① 日本PTA全国大会について

- 大会趣旨、スローガン、メインテーマの修正案(日P報告について)

<会長>

これまで予定していた大会趣旨、スローガン等をコロナ禍を鑑みた内容に切り替え、現在日Pへ上申し、回答待ちになっているところである。来月10月12日(月)に実行委員会を行い、開催の可否、開催方法などについて話し合うため、実務的な話ができるかもしれない。現時点では中途半端な報告となってしまうが、決定次第皆さんへ報告したい。

② 次年度の研修会について

- コロナの影響により、実施時期や実施方法の検討
(会長・副会長研修会、指導者研修会、教育講演会等)

<森谷>

日P大会開催のため、会長・副会長研修会(2月)のみ開催する。開催形式はZoom等オンラインを検討中。

4. 連絡・報告事項

① 役員より

○教育環境要望書の市長・教育長への手渡しのための訪問

<会長>

8月31日（月）に教育長へ要望書を提出し、同じ内容の要望書を9月23日（水）に北橋市長へ提出した。市長からの回答としては「今までは公共事業に大きな予算を取られていたが、このコロナ禍において教育により一層目を向けることの必要性を感じている」との事だった。

② 連合会より なし

③ 校長会より

<小学校校長会>

本年度、前期後期制を導入しそろそろ前期の締めになっている。

現在、子どもたちが在校している時間帯に保護者が来校することはできないことになっているが、後期については限定的に解除されていく（まずは運動場と体育館）と聞いている。小学校においては10月中旬以降、運動会の代替行事を行う予定がある。それを受けて徐々に教室での授業見学も可能となるが、とにかく慎重に行っていく。

現在汁物を避けておかず1品となっている給食について、後期から従来と同様の給食に戻る。もちろん厳重注意を行いながら給食指導を行っていく。

<中学校校長会>

昨年北九州スタンダード型標準服の導入が始まったが、20%～30%の価格上昇が検討されている。市教委としても校長会としても値上げは阻止したいところであり、要望書も提出している。ただし、メーカー6社に確認したところ原材料の価格上昇があり、値上げは避けられないようだ。値上げの幅や値上げの時期については今後、メーカーと話し合っていていく。

入試の出題範囲について、以前「県教育委員会は公表する予定がない」という報道があったようだが、10月をめどに公表することとなっている。

受験関係だが、前期試験が先週、もしくは今週行われる。夏季休業期間の短縮と同様、授業時間を確保するため、通常3日間（各日3教科）開催している期末考査を2日間（5教科、4教科）で行うかもしくは通常通り3日間テストを行うが並行して通常授業をすることとなった。

後期になっていろいろなことが変わると先ほど小学校校長会から報告があったが、試験日程についてもかなり教育課程の遅れを取り戻してきたので通常のテスト日程に戻すことが可能な学校が増えてくるのではないかと考える。各学校によって進捗度が違うため、日程の裁量は個々にゆだねられている。

新人戦の季節が近づいている。夏のフレンドシップマッチ（公式大会の代替えとして開催した3年生の思い出作りのための大会）と同様の開催形式で“公式戦”として新人戦を行うこととなった。保護者の応援を夏のフレンドシップマッチのように厳重に規制するのか、会場のキャパシティなどの能力を考慮するのか、競技によって合わせるのかなどを検討している。おそらく、無制限に保護者の方が応援に来れることはないのではないかと考える。

<特別支援学校校長会>

本日、令和2年度の交流教育について教育委員会より通知があった。毎年、学校間交流、居住地校交流（特別支援学校に通う子どもが居住地の地元小中学校と交流すること）という2種類の交流教育を行っているが、どちらも開催の可否については「特別支援学校の学校長判断による」という旨の指示であった。いずれの交流教育も相手校の校長の了解、どのような形式で交流を行うかの検討が必要になってくる。そのため、例年は調整に要する時間を1カ月程度とっているがより一層長くかかることを鑑みても、インフルエンザの流行次期に差し掛かってしまう。そのため、あくまで私見ではあるが今年度の開催は難しいのではないかと考えている。保護者の中には、交流教育を強く希望されている方もおられ、個別の相談に対応していきたいと思うが、今年度は厳しい状況が続くのではないかと予想している。

現在建て替え工事を行っている小池特別支援学校は令和5年度に開校する予定である。知

的障害の特別支援学校は 10 年前に比べ児童生徒数が 2 倍に増えており教室数が全然足りていない状況にある。教室が足りず、特別教室を普通教室として使用しなければならない学校もある。そういった学校へ行政が来校し、学校の様子を見て建て替えの情報収集および公共事業評価（10 億円を超える工事に必要な評価。従来、学校は評価不要だったが、数年前より学校の建て替えについても必要になった）が行われる。この学校を建て替える意味があるのかという事前の審議がなされ、OK が出たら 4 年ほどで建て替えが行われるようだ。

④ 常置委員会の活動報告

<広報部会>

9 月 17 日（木）19 時より P 協議室にて第 1 回新聞企画会議を行った。参加者は部員 3 名と三浦専務、森谷常務の計 5 名。発刊は 11 月中、遅くとも冬休み前までには出したいということであり製作期間は長くない。大変たくさんの意見交換ができ、11 月発行の新聞でかなえられないところは 3 月の内容に盛り込んでいきたい。これから業者打ち合わせ、原稿依頼に取り掛かっていく。

⑤ 事務局より

- ・安全互助会、PTA 台帳の提出について
- ・10、11 月行事予定表 ※10 月予定表は前回も配布したが、変更が生じている

- | | | |
|---------------|-------------------|------------|
| ・次回 会長・副会長等会議 | 10 月 9 日（金）18:00～ | 2 階 21 学習室 |
| 次回 役員会議 | 10 月 9 日（金）19:00～ | 3 階大ホール |

⑥ 質疑応答

<三浦>

前回の会議で日 P 個人表彰 4 名を決定したが、脇前専務、上田前常務が辞退となったため前小学校校長会長の米田先生、前中学校校長会の福田先生を推薦した。

<密井>

学校業務補助員の任用期間が終了間近になっているという話を耳にしたが、継続の予定はあるのだろうか。情報があれば教えてほしい。

<小学校長会>

延長希望の意向調査がちょうど本日届いたので継続任用の可能性はあるのではないだろうか。まだ未確定情報が多い。

<八幡西区小 P 連>

「任意加入」という言葉が独り歩きしているような感覚がある。PTA=服役のように考えられてしまうこともある。周りの学校は脱会したい人が出た場合、どのようにしているのだろうか。

<会長>

私の経験上の話ではあるが、脱会の話が出たときには金銭や役員就任よりもほぼ「人間関係」の問題があった。もちろん人間関係にとどまらないこともある。こちらから強く PTA の入会を強いるのではなく話を聞いてあげてほしい。なお、話を聞く際に大勢で行ってはいけない。必ず PTA 会長一人で行くべきだ。大勢で行くと押しかけられたような気持ちになってしまう。

<脇>

標準服に関して 1 点質問したい。従来の制服も値上げ対象になっているのだろうか。

<中学校校長会>

従来の制服も同様だそう。1 年経たずに値上げの話を持ち出すのはどういうことなのか、と経済的な事情も含めメーカーに申し上げてきている。今後も交渉を続けたい。

<脇>

標準服検討委員会の一員として経済的な負担を常に考えながらデザインや材料の配分を検討させていただいた身としては、今回の値上げには驚いている。

<若松区小 P 連>

見守りカメラについて報告。教育委員会の管理下に置くことはできなかったため、私たちが管理するという約束で計 8 台（正門に右左各 1 台ずつ、玄関から校門に向かって 1 台、玄関からフェンスに向かって 1 台、下足箱から外に向かって 2 台、駐車場入り口に 1 台、駐車場の校舎入り口に 1 台）設置している。今のところ問題なく動いている。雨が降った時、校

門の目の前に駐車する人がいる。そこで「見守りカメラ稼働中」という文言の掲示板を設置したところ車の台数が少し減った。デメリットについては今のところ特にない。

見守りカメラの設置については施設課は特に予算を出さないということだったが、今後市の方で予算取りについて変わっていく動きがあることも聞いている。

<会長>

見守りカメラの要望は増えてきている。ぜひ今後も情報提供をお願いしたい。